

参加者の方からいただいた主なご意見

- ・ 人生の終わり方について、少し考えてみようと思いました。
- ・ 身近なこととして感じることができました。
- ・ 関谷先生の話がとてもわかりやすく理解できました。病気の話も聞けて良かったです。
- ・ DVDの事例との組み合わせが分かりやすかった。
- ・ DVDの上映で、人工呼吸器をつけたことで生きられた18年、とか、親子でふれあい家族の大切な時間を過ごした内容は、生き方を考える大切なことで、胸を打った。
- ・ 今まで他人事だと思っていたが、いかに大事なことかと気付きました。
- ・ 本人の意思を尊重し、共に寄り添っていけるよう希望を持ちたい。
- ・ 今は元気ですが、これから認知症、がん、どんな病気になるか不明なので、勉強していかなくてはと思いました。
- ・ 介護が必要になる前に、しっかり話しておくことが大事だと思った。
- ・ 夫とは笑い話のように話はしているが、子どもとしっかりと話し合っていきます。
- ・ 何事も家族、先生と話して、自分の希望や意見を聞いてもらうことが大事だと思いました。
- ・ 後悔しないよう、事前の話し合いは非常に大事なことと思う。迷わない最期を迎えたい。
- ・ 終活で死に方や死後のことばかり考えていたが、死に至るまでの話し合いが必要で、記録しておくことが大切と教えられた。
- ・ 実際に近いことをやっているが更に認識を深めた。
- ・ 講演の内容、話し方、まとめ方が素晴らしく、聞き易かったです。
- ・ 寒くて足は進まなかったけど、出席して勉強になった。
- ・ 自分の始末は自分でできないので、エンディングノートを記入しておくのはマナーだと思います。成長期からデスエデュケーションが必要で、そうになるとACPは市民権を得ることができると思います。
- ・ 医師に任せないで、患者自身が主体的に生き方を考えて決定することが大切だと分かりました。
- ・ 早速人生会議を開いて残された人生を楽しく過ごしたいと思います。
- ・ もやもやした気持ちがずっとありましたが、講演をお聞きして何かほっとしました。気持ちが楽になりました。ありがとうございました。

- ・このような機会を頂いたことが、今後の自分の生き方について考える良いチャンスとなり良かったです。
- ・家族みんなが解りあっている事は非常に大切だと思った。私は「どれくらい生きられるか」を知った上で余命を恐怖感無く過ごしていきたい。
- ・2時間で2名の講演は、セミナーとしてちょうど良かった。
- ・帰宅したら主人にも話をしようと思います。
- ・普段思っていることをエンディングノートに書くことで、自分の気持ちをはっきりさせたいと思います。
- ・なかなか自分の事は分からない事が多かったのですが、とても良かったです。
- ・重いテーマでしたが、いつかは起こるテーマなので興味深く聞きました。
- ・人生会議という言葉がこの講演で知り、よく分かった。最期を迎える時、入院した時の医療のあり方、して欲しくない事など書いておけるのはとても良いことだと思う。
- ・高齢化社会で、このような企画をされたことに感謝いたします。と共に、自分に活かした生活にできるよう、考え方、また周りの意見等を素直に聞けるよう、心を整える努力をしていこうと思いました。
- ・どうするかは、その都度、家族と話し合っ決めていこうと思います。
- ・いざとなったらできるか？と思いますが、大いにやっておくべきと思います。
- ・最期は何でこの世を去るか分かりませんが、家族の無い私は他の人に迷惑をかけたくないと思いました。人生会議の話有谁にもって行けばいいか不安。
- ・何か考えようと思っていたのが、今回のお話で少し考えなければならないと、確信した。考えてないより、少しでも考えることがこれからは必要と思った。気付かされた事は良かったと思います。
- ・本日参加されなかった方に伝えたいと思いました。
- ・夫婦、親子など家族で講演を聞けると人生会議に取り組みやすいと思った。
- ・幸せな思いで最期を迎えたい。誰にも迷惑をかけたくないと常に思っているが、親にこの思いが通じるかはわからない。
- ・遺された家族や関わりのある人を困らせないためにも、自分の意思や思いを自分で判断できるうちに準備しておくことがとても大切だと思いました。認知症により自分が正しく判断できなくなったり、最期の言葉を伝えられるとは限らないので、日ごろから思いを伝えたり、思いや考えを書き残しておきたいです。